

～誰もが住み続けたいまちに～ ふくしのまちづくりプロジェクト

『芳生苑・健楽苑』の管理運営（指定管理者） 令和7年4月から「社会福祉法人ゆうゆう」へ変更



	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
変更前	和寒町社会福祉協議会				
変更後	社会福祉協議会		社会福祉法人ゆうゆう		

和寒町とご縁があり、町民の皆さまと「和寒町ふくしのまちづくり」事業構想をプランニングする中で、新たな施設の建設を引き受けることとなりました。

また、新たな施設へ移行するための準備期間として、令和7年度より芳生苑、健楽苑の管理運営を引き継ぐ形になりました。

芳生苑、健楽苑には優秀な職員が多くおり、これまでの取り組みと共に外部研修や実習を通じて、さらにスキルを高めてもらい、より職員の質を向上させ、そのことで町全体の福祉をさらに充実させていきたいと考えています。

新たな施設を建設する前から、町内の資源を有効に活用し、地域の福祉施設やサービスの充実が図れるよう、町民の皆さまの持っている力を沢山お借りし、ここにしかないまちづくりを展開していきます。

社会福祉法人ゆうゆう
理事長 大原 裕介

令和7年4月以降の「芳生苑」「健楽苑」

- 担当する施設職員はこれまでと変わりません。
- 入所・利用要件はこれまでと変わりません。
- 利用契約の変更が必要です。

契約変更等の手続き等は、施設から個別にご案内される書類をご覧ください。

特別養護老人ホーム「芳生苑」と老人デイサービスセンター「健楽苑」は、平成20年度から社会福祉法人和寒町社会福祉協議会（以下「社協」という。）が指定管理者として管理運営をしています。

昨年3月に策定した「ふくしのまちづくり基本構想」に沿って、その中核となる福祉施設（令和10年開設予定）を整備することとなった社会福祉法人ゆうゆう（以下「ゆうゆう」という。）が事業を円滑に移行するため、左図のとおり、社協の指定期間残り3年間（令和7年4月1日から令和10年3月31日）を指定管理者として管理運営を引き継ぐことになりました。

平成20年から17年間、芳生苑・健楽苑の指定管理を引き受け、地域に根ざした高齢者福祉施設として、安心してご利用いただける環境づくりに日々努めてまいりました。

この間、施設を支えていただいたご利用者、ご家族、そして町民の皆さまに心より感謝申し上げます。

施設の管理運営を社会福祉法人ゆうゆうにしっかり引継ぎ、今後はこれまで培ってきた経験や知識を活かし、社協本来の地域福祉事業を展開していく所存ですので、引き続き町民の皆さまのご理解、ご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人和寒町社会福祉協議会
会長 瓜 るみ子

4月1日から社協の事務所が移転します。

新事務所
字西町（診療所職員住宅）



★★★ より皆さまに愛される施設・職員をめざしています ★★★

「ふくしのまちづくり」という新たな動きが見えた中、芳生苑・健楽苑の職員は、より良い施設、より愛される職員をめざし、皆で力を合わせて行くことを決意されています。

昨年6月、これまで培ってきた経験を活かし「自分たちで考え、自分たちで行動する」組織へ成長するために「プロジェクトチーム」を立ち上げ、利用者様一人一人に寄り添う介護を身につける取り組みが始まりました。

これまでチームとして何度も話し合いが行われ、町や「ゆうゆう」との情報共有や外部アドバイザーからの助言を現場に生かし、さらには先駆的な実践を展開している道外の事業所に赴いて視野を大きく広げられています。

和寒町に住む人たちの暮らしがより豊かになるよう、職員の知識や技術がそのために活かされるように日々努められていますので、町民の皆さま、これからもよろしくお願い致します。



外部アドバイザーを迎え、
介護や看護現場の課題を整理



ゆうゆうや町の職員と新たな
福祉施設の内容を協議



これからの介護を職員全体会議や
グループワークで討議

プロジェクトチームメンバーから

健楽苑 庭田 栄さん (支援課長兼相談係長)

農福連携の視察で岡山県西栗倉村と大阪府高槻市のデイサービスを視察させていただきました。

ご利用者のニーズをしっかりと丁寧に読み取ったうえで、普段の活動に農業を取り入れている様子を拝見でき、大変貴重な経験となりました。

今後のデイサービスの運営や新たな福祉施設で高齢者と障がいのある方が利用する「共生型サービス」へ取り組んでいくにあたり、参考になったことが沢山ありますので、今回学んだことを活かすことができるよう頑張ります。



芳生苑 森岡 志織さん (介護副主任兼介護リーダー)

福岡県の視察に参加。他施設のケアの実態を学び、ユニット型特養について理解を深める事ができました。

利用者一人ひとりの個性や生活リズムに合わせたケアが実現できると実感しました。日々変わるご利用者さんを知り、ご利用者の声に耳を傾け、ご利用者が安心して生活できる場をめざしていきたい。

新たな福祉施設開設に向けて、共通したケア意識を持てるよう、プロジェクトメンバーが中心となり、取り組んで参りたいと思います。

芳生苑 佐藤 葉菜さん (介護リーダー)

プロジェクトチームの一員として、活動をさせていただく中で様々な場面で自分の知識不足を痛感しました。また、介護についてだけではなく、視野を広くもち施設全体として物事を考えていくことを学ばせていただいています。

新たな福祉施設に向けて職員と切磋琢磨し、ご利用者が和寒町で最期まで暮らせるために出来ることを考えていきたい。

また、町民の皆さまも立ち寄りやすく、利用者に気軽に会いに行ける環境を作れたらと思っています。

